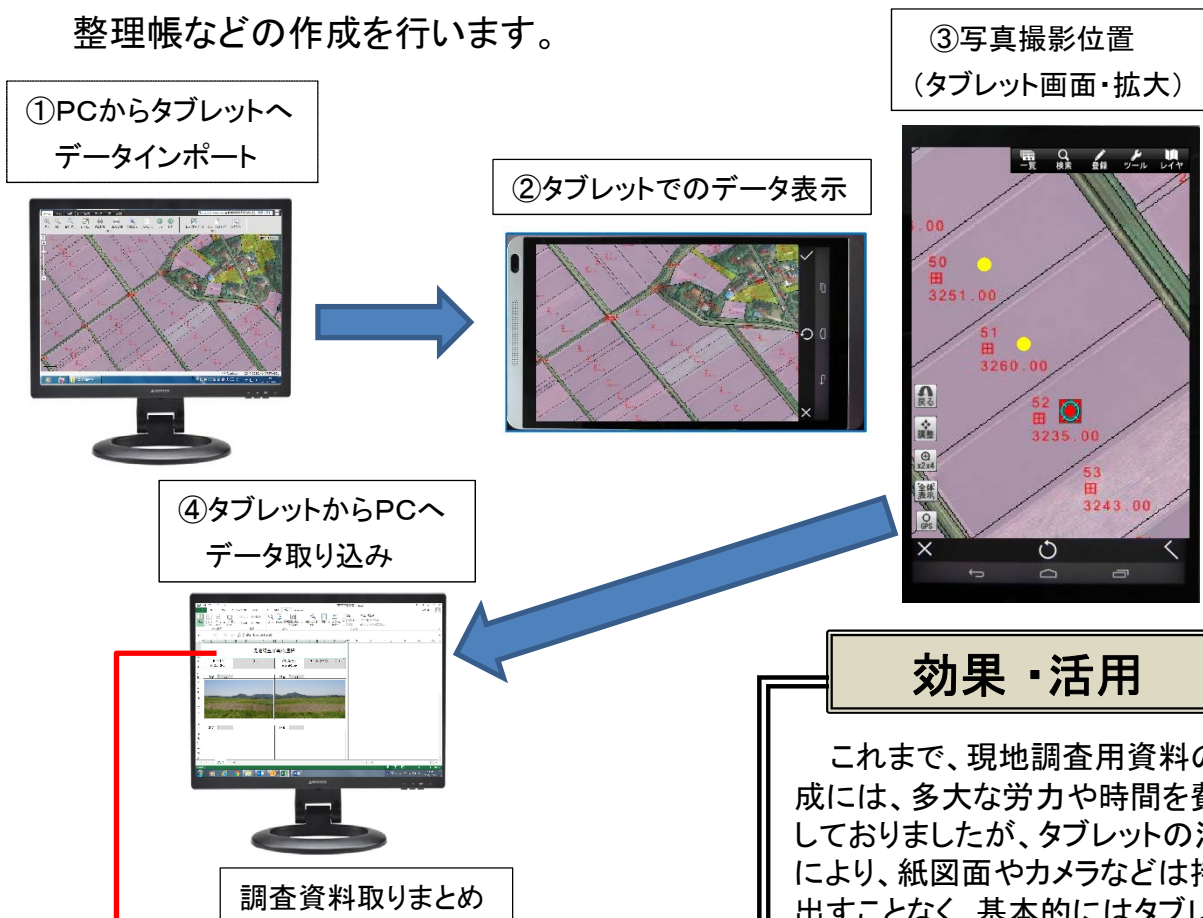


現地調査用 水土里情報タブレット端末(水土里egg)の紹介

～ 現地調査における効果・活用について ～

- ①PCからタブレットへ調査対象データ(筆・活動組織区域など)をインポートします。 ※タブレット用ソフトウェア「水土里egg」使用
- ②調査箇所近辺でタブレット「水土里egg」を起動し、GPS機能で現在地を確認しながら目的地に移動します。
- ③目的地に到着後、写真撮影などを実施し、確認記録として位置情報を登録します。
- ④タブレットから写真データなどをPCに取り込み、写真撮影位置図または写真整理帳などの作成を行います。



効果・活用

これまで、現地調査用資料の作成には、多大な労力や時間を費やしておりましたが、タブレットの活用により、紙図面やカメラなどは持ち出すことなく、基本的にはタブレットのみで現地確認が可能となります。さらに、調査した位置情報や現地の写真データをPCに取り込み、調査資料の作成に活用することができます。タブレットに水土里情報(調査対象データ)などを取り込むことにより、ほ場単位の作付状況、面積確認、作物被害などの調査、水利施設の健全度、被害状況などの調査及び維持管理など、幅広い活用ができます。

現地調査写真整理帳			
市町村名	〇〇市	確認年月日	2016年〇月〇日～〇日
対象組織名		現地確認者	
地番	51	地番	52